

申告書等の記入方法

《記入上の注意》

- ① 文字、数字等は、枠内にボールペンで明確に記入してください。
- ② 次の場合においても提出をお願いします。
なお、償却資産申告書の「18備考」にその旨を記入してください。
 - (ア) 申告の対象となる資産がない場合
 - (イ) 前年中において資産の増減がなかった場合
- ③ 記入後の訂正は、二本線で抹消し、その欄の上段に修正後の内容を記入してください。
- ④ 申告用紙が足りないときや御不明な点については荒尾市税務課まで御連絡ください。

申告書の提出・お問い合わせは・・・

荒尾市役所 市民環境部 税務課 資産税係

〒864-8686 熊本県荒尾市宮内出目 390 番地 (窓口⑩-3)

TEL 0968-63-1346 (直通)

申告書の記入方法

申告書を提出する年月日を記入してください。

個人番号又は法人番号を確認し、記入してください。

事業の種目を具体的に記載してください。
また、法人の場合は資本金又は出資金額等の金額も記入してください。

荒尾市内での事業開始年月を記入してください。

この申告について応答される方の係名、氏名及び電話番号を記入してください。

住所及び電話番号を正確に記入し、ふりがなをふってください。
また、ビル等に入居している場合は、ビルの名称、階数及び部屋番号を記入してください。

氏名を直接記入していただくか、または記名押印してください。
なお、所有者が法人の場合は、その名称及び代表者の氏名を記入し、代表者印を押印してください。
屋号があれば記入してください。

経理を委託している税理士等の氏名及び電話番号を記入してください。

該当する方を○で囲んでください。

荒尾市内にある事業所等資産の所在地を記入してください。

リース資産の有無について、該当する方を○で囲んでください。借用資産がある場合には、貸主の住所、名称、電話番号等を記入してください。

該当する方を○で囲んでください。

資産がなければ【3. 該当資産なし】、資産の増加減少がなければ【2. 増減なし】に○をつけてください。
また、前年中において、廃業、解散、閉鎖等があった場合は、その異動事由に○をつけて、異動年月日を記入してください。
その他この申告に必要な事項及び償却資産の評価において参考となるべき事項について記入してください。

令和 年度 償却資産申告書 (償却資産課税台帳)

受付印 荒尾市長 様

1 住所 荒尾市宮内出目390番地 (電話 63 1346)

2 氏名 荒尾 太郎 (電話番号 63 1346)

3 個人番号又は法人番号

4 事業種目 (資本金等の額) 小売業

5 事業開始年月 平成13年4月

6 この申告に回答する者の係名及び氏名 荒尾 太郎 (電話番号 63 1346)

7 税理士等の氏名

8 短縮耐用年数の承認 有 無

9 増加減等の届出 有 無

10 非課税該当資産 有 無

11 課税標準の特例 有 無

12 特別償却又は圧縮記載 有 無

13 税務会計上の償却方法 定率法 定額法

14 青色申告 有 無

資産の種類	取得価格			
	前年前に取得したもの(イ)	前年中に減少したもの(ロ)	前年中に取得したもの(ハ)	計(イ+ロ+ハ)
1 構築物	4579500	325000	1262500	5517000
2 機械及び装置				
3 船舶				
4 航空機				
5 車両及び運搬具	3782000		204750	3986750
6 工具、器具及び備品	8361500	325000	1467250	9503750
7 合計				

15 市(区)町村内における事務所等資産の所在地 ①荒尾市宮内出目390番 ②荒尾市荒尾4186番地19

16 借用資産 有 無 貸主の名称等 熊本市北区〇〇864番地 〇〇(株) (096-123-4567)

17 事業所用家屋の所有区分 自己所有 借家

18 備考(添付書類等) 該当する項目に○をつけてください
1. 資産増減あり 2. 増減なし 3. 該当資産なし
4. 廃業・解散・休業(年月日)
5. 移転(年月・移転先)
6. 売却(年月・売却先)
7. その他

電算処理方式による全資産申告を行う場合のみ記入が必要です。
一般方式の申告においては記入する必要はありません。

前年前に取得したもの(イ)	前年中に減少したもの(ロ)	前年中に取得したもの(ハ)	計(ニ)
去年1月1日以前に取得した資産の価額の合計	去年1月2日から今年1月1日までに減少した資産の価額の合計	去年1月2日から今年1月1日までに増加した資産の価額の合計	今年1月1日現在に所有している資産の価額の合計

種類別明細書の記入方法 (増加資産・全資産用)

*初めて申告される方は、今年1月1日現在に所有している全ての資産を記入してください。

資産を取得した年月を記入してください。
年号は「令和」に取得したものは「5」、「平成」に取得したものは「4」、「昭和」に取得したものは「3」と記入してください。

氏名又は名称を記入してください。
また、この「種類別明細書(増加資産・全資産用)」について、ページ数を付けてください。
(例) 3枚のうち2枚目

申告の年度を記入してください。

令和 年度

種類別明細書 (増加資産・全資産用)

所有者名

荒尾 太郎

枚の表

1

枚目

1

申告書の右上にある所有者コードを記入してください。

- 番号：資産の種類
- 1：構築物
 - 2：機械及び装置
 - 3：船舶
 - 4：航空機
 - 5：車両及び運搬具
 - 6：工具、器具及び備品

資産の名称、数量をそれぞれ記入してください。

記入の必要はありません。

電算処理方式による全資産申告を行う場合のみ記入が必要です。一般方式の申告においては記入する必要はありません。

- 資産を取得した事由について、該当する番号を○で囲んでください。
- 1：新品取得
 - 2：中古品取得
 - 3：移動による受け入れ
 - 4：その他

「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」の別表第1、第2、第5及び第6に掲げる耐用年数を記入してください。

資産を取得するために支出した金額又は支出すべき金額(付帯費用を含みます)を記入してください。
また、法人税法及び所得税法の規定による圧縮記帳については、償却資産の評価上認められておりませんので、当該圧縮額を含めた実際の取得価額を記載してください。

注：申告もれや資産の移動により新たに資産を申告する場合について
取得年月日が平成19年12月以前の資産について、耐用年数省令の改正で耐用年数が変更された資産については、改正前の耐用年数の記載も必要となります。摘要欄に改正前の耐用年数を記入してください。(例：前10年)

行番	資産の種類番号	資産コード	資産の名称等 (漢字使用可)	数量	取得年月		取得価額	耐用年数	減価残存率	価額	課税標準の特例率	課税標準額	増加事由	摘要
					年	月								
01	1		舗装工事	1	4	28	4	689000	10					
02	1		内装工事	1	4	28	4	573500	10					
03	6		パソコン	1	4	28	8	204750	4					
04														
05														
06														
07														
08														
09														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														
				小計	4									

種類別明細書の記入方法
(減少資産用)

申告書の右上にある所有者コードを記入してください。

氏名又は名称を記入してください。

種類別明細書 (減少資産用)

所有者コード		所有者名										
		荒尾 太郎										
資産の種類	抹消コード 一品コード (明細の「取得経緯」欄に記入してください。)	資産の名称等 漢字使用可	数 量	取得年月 年 月 日	取得価額	耐用年数	減少の事由及び区分					
							1売却 3移動	2減失 4その他	1全部 2一部	要		
01	166654	カンパシヨウジ	13	110	325000	4	1	2	3	4	1	2
02							1	2	3	4	1	2
03							1	2	3	4	1	2
04							1	2	3	4	1	2
05							1	2	3	4	1	2
06							1	2	3	4	1	2
07							1	2	3	4	1	2
08							1	2	3	4	1	2
09							1	2	3	4	1	2
10							1	2	3	4	1	2
11							1	2	3	4	1	2
12							1	2	3	4	1	2
13							1	2	3	4	1	2
14							1	2	3	4	1	2
15							1	2	3	4	1	2
16							1	2	3	4	1	2
17							1	2	3	4	1	2
18							1	2	3	4	1	2
19							1	2	3	4	1	2
20							1	2	3	4	1	2
		小計										

減少事由について、該当する番号を○で囲んでください。
1：売却
2：減失
3：移動
4：その他

減少区分の番号を○で囲んでください。
1：申告済資産の全部が減少
2：申告済資産の一部が減少
なお、資産の一部が減少した場合は、当該資産の減少した部分に対応する取得価額を記入してください。

同封の「種類別明細書 (全資産明細書)」と比較して、減少した資産の種類、名称、取得価額等を記入してください。